



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 永 井 正 美  
幹 事 西 澤 吉 樹 会 報 委 員 長 村 上 武 史

RI 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2164

2013-12-20

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
http://www.osaka-johnan-rc.org/  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長 ロン D. パートン

### 本日の例会 12月20日(第3例会)

- 卓話 「ミナミの未来」  
魅力あふれるミナミのまちづくりの為、  
ミナミまち育てネットワークの役割とは？  
境 高彦会員

### 次週のお知らせ 12月27日(第4例会)

- 卓話 「肝胆膵領域における内視鏡外科の進歩」  
腹腔鏡下胆嚢摘出術に始まる、肝胆膵領域  
内視鏡外科の近年の進歩について解説します。  
兵庫医科大学 外科学教授 飯室勇二氏  
(野中一彦会員担当)
- 食膳 <日本 和定食>

### 次々週のお知らせ 1月3日(第1例会)

休 会

### 先週の記録 12月13日(第2例会)

- 出席報告  
出席会員 46 名 (内免除会員 12 名)  
会員総数 53 名 (同上 18 名)  
ゲスト 0 名  
ビジター 1 名  
計 47 名  
ホームクラブ出席率 93.88%

11月22日(第4例会) 補正出席率 96.15% (MU 6 名)

- ゲスト&ビジター (敬称略)  
吉駒茂子 (大阪アーバン)

### ◆ 会長の時間 ◆

「諦め」

お釈迦さまが悟りを開かれた後、鹿野苑で友人達に最初の説法をされました。その説教が初転法輪と言い、その内容は「四諦」の教えでした。

「諦」とは「まこと」とか「真理」「悟り」という意味で、動詞として読む時は「つまびらかにする」「いろいろ観察をまとめて真相をはっきりさせる」という意味です。

お釈迦さまは「悟り」の内容を、苦諦・集諦・滅諦・道諦の四つ真理に分け、それを見ることで、真理を知ることが出来ること説かれました。ですから「諦」という言葉は、現在のよ

うな消極的に断念するような使われ方ではなく、本来は真理を悟るといふ力強い言葉なのです。

### ◆ 幹事報告 ◆

- 2/21、22地区大会登録申込書ポスト未提出の方が多いため再度お願いします。まだされていない方はできれば本日中に登録をお願いします。
- 地区より青少年支援プロジェクト第3回派遣候補生オリエンテーションの案内が届いておりますので、岩永新世代奉仕委員長に回覧しております。

### ◆ 委員会報告 ◆

#### ①親睦・出席委員会報告

親睦・出席委員長 尾崎 巖  
平成25年12月6日(金)午後6時から、大阪城南ロータリークラブの年末家族懇親会をシェラトン都ホテル大阪で開催致しました。

ご出席は79名の参加者で行われました。

会員の皆様からご協力を賜りました数々のお品とマジックショー、ビンゴゲーム、抽選会を企画致しました。おかげさまで、楽しい有意義な家族親睦会ができました。

会員の皆様、役員の皆様、親睦・出席委員の皆様、ご協力をありがとうございました。

#### ②「ロータリーの友」12月号の紹介

雑誌・広報委員 鈴木良造

#### 1)横組P.3 RI会長メッセージ

ロータリーの創設者ポール・ハリス氏がシカゴ郊外で過ごされた家の保存活動について、協力を求められています。

ハリス夫妻は、その家で世界旅行で集めた物に囲まれ、何年もの間ロータリーの会合を開いたり、訪れた客の持て成しをしました。1947年、ハリス氏はその家で息を引き取り、妻ジーンさんはその後、家売り、スコットランドへ帰りました。

2005年、ポール・アンド・ジーン・ハリスホーム財団がその家を買戻し、解体を免れました。

RI理事会は、このかけがえのない建物の修復を支



▲誕生日を祝して 左より  
岡部(倫)会員、野中会員、永井会長、光信会員、尾崎(敬)会員

12月は家族月間です!!

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

援するため、財団に基金をつくり、貸付けをすることになりました。

ご賛同頂ける方からの寄付をお受け致します。

2) 今月は、家族月間です。特集が組まれています。

横組 P. 7 ~ 10 ・ 家族と共に

横組 P. 8 ~ 10 ・ われらロータリアンズ

横組 P. 11 ~ 14 ・ ローター一家族と一緒に

3) 横組 P. 15 ~ 18

公益財団法人 ロータリー日本財団

平成 24 年度 事業報告が掲載されています。

(平成 24 年 7 月 1 日 ~ 平成 25 年 6 月 30 日)

### 卓 話

12月13日 <第2例会>

「A patient」

佐々木正治郎会員



科学の進歩は目覚ましいが、人体は様々な物質で出来て居り、科学的には細分化して解明出来る様に思えるが、人間という総合体は意識や感情をはじめ解明出来無い点が多く厄介な事に自分と同じ個体は世界には存在せず参考にはなっても全く同一では無い。一旦疾病に罹れば家族には安心感を抱く事を考

えれば、利害関係も無く面倒を見てくれるという「信頼関係」が存在しているからだろう。医療従事者と患者の関係においても信頼関係は自身の治癒には極めて重要な事である。患者にならずに生涯を送る人はまずいない。検査機器や物理学・化学の発達のお陰で医療の確定診断や治療に多大の恩恵をうけて居る。此の進歩した医療機器を使用して診断するのも人間であり、患者も人間である。どんなに立派な検査機器や治療器具・設備があっても其の設備をどう使い熟すかは医療従事者の双肩に掛かっており、如何に最大限活用して戴くかどうか異常を発見出来るか?で当然の事ながら結果は異なる。一方、患者側の要因も医療の結果に大きな結果を及ぼす。通常患者に対して服薬指導がなされ、患者が指導遵守する前提で医療は考えて居られるので、病院や診療所から帰路につけばその後の結果は患者自身の責任であり、患者も医療の専門家である医師の指示に従うのは自身の治療効果を最大限に高めるには大事なことである。しかし、前述した様に世界には自分と同じ個体はいないという個体差がある限り標準的な治療を想定した処方でも処方された場合、自身の服用後の反応は初診や初めて服用する薬については患者自身が経過観察者であり、医療関係者ではない。かえって悪くなる場合には薬等の副作用が考えられ再度受診の必要がある。そして患者自身の服用順序や病気に対する遵守行動も医療の質に及ぼす影響が大きい事を患者自身も認識する必要がある。利益も不利益も被るのは患者自身である事を考えれば医療に認識のある患者には自己決定を尊重して貰わねばならないが、基本的には患者、患者家族と医療チームの三者である。その三者の長年の信頼関係が構築されていない場合、医療チームは患者の性格や価値観については情報を持ち合わせていない一方、病態の見通しについては有力な情報と経験を持ち合わせて居り、患者家族は患者の性格、置かれた立場や生活環境等の情報を持ち合わせているかわり、一般的には医療知識には乏しく治療経過や見通しが出来ない。患者自身は自己の身体上の変化に関する事であり、激しい痛みや苦痛、不安、不都合になった点等即時経験する事になる。従って医療従事者も患者家族も患者本人の苦痛については 100% 共感する事が出来無い事から最終決定は可能な限り患者自身

の自己決定に委ねられるべきだが、其の為には患者自身も可能な限り治療に対する知識を得ておかねばならない。医療に関する意思決定は不可逆的な変化を伴っており、やり直しがきかない事を決めなければならない場合が殆どで、時として自身の命に影響を与える事になる。治療が終わった後も「自分の受けた治療はあれでよかったのだろうか?」と思ひ情報を求める事もある。他人と情報の交換を求めるのは医療従事者と効果的にコミュニケーションを取るためでもある。医療情報については均霑化が求められる。インターネットの情報は膨大だが、いい加減なものも多くなって混乱するだけである。患者が医療について幾らか知識や情報の持ち合わせがあれば、いくつかの治療方法の選択肢を示された時にどれを選択するかなど大事な決断をしなければならない時に医師と話がしやすくなり意思決定にも参加できる。日本人の死因の第一は悪性新生物、第二は心疾患、第三は脳血管疾患であり、いわゆる生活習慣病と言われるものであり第四は肺炎で第五は事故である。一方、1953年のワトソンとクリックのDNAの二重螺旋構造の発見から50年後の2003年に国際レベルでのヒトゲノムの全塩基配列を解析するプロジェクトのヒトゲノム計画は完了した。21世紀はいよいよ遺伝子治療を迎えた時代であるが、未だ治療方法がない難病も多い。京都大学の山中教授のips細胞による治療には大きな期待が寄せられている。

### にこにこ箱

12月13日 (第2例会)

- ・ 尾崎(巖)委員長、委員の方々、年末家族会ありがとうございました。南賀会員
- ・ 家族会で副会長賞を頂き有難うございました。杉原会員
- ・ 年末家族会楽しく出席をさせていただき感謝、感謝。また親睦・出席委員会の皆様お疲れでした。永田会員
- ・ 家族会で親睦の皆さんご苦労様でした。南賀さんありがとうございます。佐伯さん、いつも大変なお気遣いありがとうございます。永井会長、家族会で会長賞を頂きありがとうございます。大切にに使わせて頂きます。岡部(倫)会員
- ・ 昨日4人目の孫が生まれました。井上会員
- ・ 尾崎さん、親睦・出席委員会の皆様、愚息が大変お世話になりました。村上(武)会員
- ・ 久しぶりに片山津GCで先日8日(日)、165Yホールインワンしました。永井会員
- ・ 先週の家族会では、大変結構な誕生日プレゼントをいただきありがとうございました。また私は17年前の今日、入会しました。今日から18年目となりますが、これからも皆様のお世話になりながらも楽しく過ごしていきたいと存じます。これからもどうぞよろしく。尾崎(敬)会員
- ・ 親睦・出席委員会の皆様ありがとう。2人してビンゴ当たりました。いつも当たらないのであらかじめいましたが、すぐに宝くじも買いに行きました。渡邊会員
- ・ 家族会では大変お世話になり、有難う御座いました。今日は卓話です。よろしく。佐々木会員
- ・ 家族会でSAA賞頂き、有難うございました。岩永会員

(編集担当 西・三宅)

会員増強にご協力を!!